

2024年度 研究、教育、社会・学会活動報告書

1. 研究（本年度のみ）

ふりがな	しょうじ まきこ				
教員氏名	小路 真木子	職 位	教授	学 位	博士（理学）
アルファベット表記	SHOJI Makiko				
専門分野		情報学、宇宙物理学			
研究課題	テーマ	画像分析ツールの開発			
	概要	画像の分類・分析等のための実用的なツールの開発			
本年度 研究業績	研究テーマ	類似画像の実用的な評価・判定ツールの開発			
	経過と到達点	画像の類似性を判定するツールについて、森崎教授より依頼。類似度の算出方法について検討。結果を距離として可視化するようなツールを開発。			

（1）学術論文

	論文等の名称	発行年月 (西暦)	単・共著 の別	発表雑誌等	概要
①英文査読論文					
②和文査読論文					
③英文論文					
④和文論文					
⑤紀要論文					
⑥紀要研究ノート、専門誌記事等					
⑦学会での 口頭発表、討論者（ディスカッサント）	画像類似度マッピングツールの開発	2025年3月予定	共著	京都経済短期大学 2024年度第2回経営・情報学会研究報告会	画像の類似度を自動判定し、それらの「距離」を視覚的に提示する、誰でも手軽に使えるツールについて、開発状況を報告。（小路、森崎）

(2) 著書

	著書名	発行年月 (西暦)	発行所等の名称	概要
⑧共著書・ 共訳書				
⑨単著書・ 単訳書				

(3) 外部研究資金獲得(競争的資金獲得)

	研究テーマ (代表研究者名)	期間年月 (西暦)	研究項目の名称 (文科省科研費等)	概要
⑩共同研究 (研究代表)				
⑪単独研究				
⑫共同研究 (分担研究)				
⑬科学研究 助成事業(日 本学術振興 会)申請	※ 申請した場合は「申請」と記入。			

2. 教 育 (本年度のみ)

担当科目		前 期	後 期
		科目名	科目名
	講義	情報セキュリティ 情報ネットワーク 情報処理概論 自然科学概論	アルゴリズムとデータ構造 プログラミング入門
	演習	基礎ゼミナール ゼミナールⅡ	ゼミナールⅠ ゼミナールⅢ
	実習		

教育内容・方法 の工夫	◆ 講義科目 「プログラミング入門」：課題の提出方法も含めて CEAS に一本化し、資料等をさらに充実した。 「情報ネットワーク」：定期試験を実施しない代わりに、CEAS による本格的な確認テストをおこなった。 「情報処理概論」の講義内アンケートは、テーマによっては 1 回 1 問に限らないことにして、内容を見直した。 上記科目も含め、すべての科目において、事例や新技術、法改正等、最新の内容に更新している。
	◆ 演習科目 「ゼミナール I」：Python の学習に paiza ラーニングの学校フリーパスを活用、ゼミとしての到達目標を提示し、自学自習を促した。また、Reading Skill Test のサンプルを利用して、読解力が特に弱い学生については追加の学習をおこなった。So what? / Why so? で話題を広げる、謎解きで法則性の発見や柔軟な見方を鍛える、などの訓練も引き続きおこなった。
	実習科目
	◆ その他（教科書・教材等の作成を含む。） 「学内システムハンドブック」改訂。 夏期・春期休暇中に「IT パスポート試験」の勉強会を開催。春期には「基本情報技術者試験」の勉強会も開催。

(1) 課外活動

①研修旅行 海外	
②研修旅行 国内	

3. 社会・学会活動（本年度のみ）

（1）公的委員会

分 類	活動・講演の概要
①委員長・座長 国・国際機関	
②委員長・座長 上記以外	
③委員・アドバイザー 国・国際機関	
④委員・アドバイザー 上記以外	

（2）学術団体の理事（日本学術会議協力学術研究団体）

分 類	活動・講演の概要
⑤理事長・会長	
⑥理事	

（3）講演会

分 類	活動・講演の概要
⑦講演者・登壇者・学会座長	

4. 特記事項（本年度のみ）

経営専門委員会「将来構想策定委員会」委員 京都経済短期大学生協理事長〈継続〉 情報システムセンター長ではないが、JPRS, UPKI 等、対外的なネットワーク管理責任者は継続 教員向け CEAS マニュアル改訂 『リエイゾン』第 47 号「お気楽本棚 第 15 回『小悪魔女子大生のサーバエンジニア日記』」（2024 年 10 月）〈皆勤継続〉 『センターNEWS』第 38 号トピックス「情報処理技術者試験を受けてみませんか」（2025 年 2 月）	
--	--